

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス こもれび		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 27日		R7年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	R7年 1月 27日		R7年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人のファーム(こもれびファーム)を活用し、野菜の植え、水やり、草抜き、肥料、収穫などの体験をすることが出来る。実際に育てることで、作物に対する愛着も湧き、収穫した作物を使用してクッキングや調理実習を行うことで、普段は食べない野菜も食べるなどの食育の一連の流れを踏むことが出来る。	季節ごとに野菜を作り分け、旬の野菜を収穫して、四季を感じ取れるよう、取り組んでいる。 こもれびファームの稼働が始まって年数も経ち、実際に作物の収穫や植え付けの時に、「今の季節」を感じられている。	今後、ファームの拡大を計画しており、作る野菜や果樹の種類も増え、新たな体験(場所も含めて)が出来るように取り組んでいる。
2	人数に対して、十分な活動スペースの確保が出来ている。プレイルームにおいては、ボルダリングやトランポリン、ジャンボリン、ボールプールなど遊具を取り揃えており、楽しみながら体を動かしたり、運動機能の維持、向上に繋がっている。	特性により、集団での活動が苦手なり方もいる為、そのための個別のスペースの確保を行うとともに、その際もみんなの活動の様子も見えるようにして置くことで、自分のタイミングや促しの声掛けで、自分のペースで集団での活動に参加できるように対応している。	現在の日々の活動は勿論のこと、広いスペースを活用した様々な活動を今後も考えて、利用者の皆さんが日々を楽しく過ごせるように取り組んでいく。
3	おやつはクッキングで自分たちで作ることにこだわり、クッキングを通して楽しみながら作り、出来立てを食べられるようにしている。	ファームで採れた野菜を用いて、自分たちで作ったものでのクッキングも出来るようにしている。	皆さん、クッキングを楽しみにされている為、今までのメニューはもちろんの事、新たなメニューも提案できるようにしていく。
4	同一法人に、様々な事業所がある為、将来に向けての見学等も適宜行うことが出来る。また、普段目にしておくことで、不安や緊張が軽減した状態で移行することに繋がる。それにより、将来の進路へとつなげている。	就労支援B型事業所こも庵(麺BARこも庵)へ昼食を食べに行く機会を設けることで興味関心を持つことや卒業した先輩が実際に働く様子を見て、「自分もこうなりたい」との気持ちにつながっている。	希望があった際に、長期休み等の際に見学へ行ける機会を随時設けていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が、どんど焼き等、年1回程度で外部との交流の機会は少ない。	現在行っている定期的な交流以外での新たな機会を設ける予定が無い為	地域との交流の機会は少ないが、その分同一法人内の他事業所との関わりの機会は行事などの際に設けており、今後も機会を設けて、放課後等デイサービス以外の方との関わりの機会を持てるようにしていく。
2			